倫理審査番号	2023-027

研究内容の説明文

献血者説明用課題名※ （括弧内は申請課題名）	日本での HTLV-1 感染の動向を推測する数理モデルを作る （日本における HTLV-1 感染ダイナミクスの数理モデルによる解析）
研究期間（西暦）	2023 年倫理承認後から 2026 年 3 月
研究機関名	日本赤十字社九州ブロック血液センター
研究責任者職氏名	相良　康子

※理解しやすく、平易な文言を使用した課題名

研究の説明

1　研究の目的・意義・予測される研究の成果等

（目的および意義）本研究の目的は、日本での性別年齢別の HTLV-1 感染の広がり方について予測することで、日本における HTLV-1 感染の実態を知り、本感染症のまん延防止に貢献することです。

（予測される研究の成果等）　HTLV-1 感染の実態についてはあまり分かっていません。日本は HTLV-1 感染が多い国のなかでほぼ唯一の先進国であり、本感染症の有効な対策に大きな役割を果たすことが期待されています。献血者の中の感染率から感染の広がりを予測する試みは、日本国内のみならず国際社会における当該感染症への取り組みを進めるために有効だと考えられます。ただし、検査結果は集計した形で用いられ、個人が特定されることはありません。

2　使用する献血血液等の種類・情報の項目

献血血液の種類：使用しない

献血血液の情報：献血者の献血者コード、年齢、性別、採血実施県、HTLV-1 検査結果

3　共同研究機関及びその研究責任者氏名

《献血血液等を使用する共同研究機関》

長崎大学病院　准教授　長谷川　寛雄

長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科　助教　遠藤　彰

《献血血液等を使用しない共同研究機関》

該当なし

4　献血血液等を利用又は提供を開始する予定日

令和５年 11 月 14 日（倫理承認後）

5　研究方法《情報の具体的な使用目的・使用方法含む》

献血血液等のヒト遺伝子解析：☑行いません。　□行います。

《研究方法》2 種類の予測方法を用いて、HTLV-1 の流行状況を予測します。それが現実のデータと合致するか検証し、献血者での陽性率や陽転率から予測と現状が合致するよう補正を行うことで、将来的な感染の広がりを予測します。

6　献血血液等の使用への拒否（又は同意の撤回）について

研究には集計値のみが用いられるため個人特定はできません。集計作業以前の、個人の特定ができる状態であれば同意の撤回及び研究使用の停止が出来ます。

７　上記５を受け付ける方法

下記の問い合わせ先にご連絡ください。

日本赤十字社九州ブロック血液センター
筑紫野分室　品質部
TEL　092-921-1403（平日９：00-17：30）

本研究に関する問い合わせ先

所属	日本赤十字社九州ブロック血液センター　品質部
担当者	相良　康子
電話	092-921-1403
Mail	y-sagara@qc.bbc.jrc.or.jp